

特別助成 東日本大震災の被災者を元気づける事業（コミュニティ強化支援）

「子ども達に“勇気”や“元気”、“希望”や“笑顔”を届ける活動～RYU PROJECT～」事業

僕たち、私たちの町にヒーローがくる！ 希望や元気の源となる活動

東日本大震災直後、避難所での不自由な生活を余儀なくされている子どもたちの「テレビヒーローに会いたい!」という声を受けて始まった、NPO法人HEROによる「RYU PROJECT」。2015年11月には、その公演数が1000回を超え、2014年に引き続いて行われたスーパーライブ也大盛況となった。



訪問要請のあった幼稚園や保育所、児童館や仮設住宅を回り、無償で交通安全教室、握手・撮影会、ミニショー、ゲーム大会などを実施

1,000回を超える公演で 破牙神ライザー龍に対する期待も変化

2011年10月にスタートしたRYU PROJECTは、テレビに登場するヒーローと遜色のないクオリティのオリジナルヒーロー「破牙神ライザー 龍」が、訪問要請のあった幼稚園や保育所、児童館や仮設住宅を回り、無償で交通安全教室、握手・撮影会、ミニショー、ゲーム大会などを行うことを基本としている。プロジェクトに携わるキャストやスタッフは、東北地方でキャラクターショーなどに関わった経験を持つ人で、総勢約20名。まさに手弁当で活動に参加している。

丸4年が経過し、その公演数は1,000回を超えたが、来てほしいという要請は、いまだ後を絶たない。活動拠点は宮城県内を中心だが、隣県の岩手県や福島県での公演

も徐々に増えつつあるという。公演を重ねる中で、龍に対する期待が多岐にわたってきたと、スタッフの佐藤真実さんは話す。

「ヒーローに会いたいという子どもたちの期待は相変わらずですが、先生方や親たちからは、成長するにあたって人間として大切なことを子どもたちに教えてほしいといった声が多く聞かれようになりました。また、最近では龍を招いて交通安全教室を実施するところが増えましたが、先生方からは、交通安全など難しい内容も、龍が直接語ることで、子どもたちの心に残ると感謝されています。現在は龍の防犯教室を制作中です」。

それだけ龍の存在が、子どもにも大人にも浸透してきたということだろう。

前年に引き続いて実施された無料の スーパーライブに観客から感動の声

2014年にAJOSCの助成を受けて実施した「破牙神ライザー 龍 スーパーライブ」が、2015年も同様に石巻市で開催された。一日2回、計4ステージのライブには、1,608名の定員に対し、前年より274名多い2,216名が応募、被災地域の家族連れを中心に大勢の方が無料のライブを楽しんだ。

「今回は家族愛をテーマにした新しいストーリーに加え、キャラクターも1体、新しいものを作り、さらに、龍の新フォームも登場させ、ライブをバージョンアップさせました。終了後のアンケートでは、大人になってこれほど泣いたのは初めてだった、来年以降もぜひ続けてほしいといった声が多く寄せられました」と、佐藤さん。今回のライブでは会場に「お願いポスト」を設け、龍にしてほしいことのリクエストを

募り、「誕生日にお家に来てほしい」など、約20件の要望に応えた。

アンケートには有料でもいいので継続してほしいという声もあったが、それだけはしたくないと、佐藤さんたちスタッフは言う。「震災から5年がたちますが、被災地ではまだまだ経済環境が元に戻っていません。そのため、エンターテインメントを楽しむというのが、家族でやりたいことの優先順位の中では一番下です。そうした方々に、年1回、家族で盛り上がる機会を提供したい。その意味でも、無料公演にこだわりたいのです」。

この活動を継続していくために、協賛企業をさらに増やし、資金確保に力を入れたいという。そのためにも決定権を持つマネジメント層に、活動の認知度を上げることが今後の課題だという。



被災地域の家族連れを中心に無料のライブを楽しんだ



破牙神ライザー 龍 スーパーライブ

助成団体: 特定非営利活動法人 HERO

<http://ryuproject.com>



震災を機にできたヒーローだから今後も被災地の人々を元気にしたい

2014年に引き続き、今回も助成でお世話になりました。おかげさまでスーパーライブもより充実させることができました。この活動は自分たちにしかできないという自負と気概を持って、今後もレベルの高いショーやライブで子どもたちに希望や元気、勇気や優しさを届けていきたいと思っています。これからも温かいご支援をお願いします。

NPO法人 HERO
佐藤 真実さん